

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

・新型コロナウイルスの影響により活動の縮小が求められ、高齢者の閉じこもりは一層すすんでいる。心身の機能が低下している方も多い。身近な場所での集いの場の拡充だけでなく、介護予防活動の普及啓発のために新たなアプローチ方法が求められている。→様々なプログラムやアプローチ方法を検討し、個人や小規模単位でも継続、習慣化できるような取り組みが必要である。

・消費者被害は区内でも多い地区であり、今後も増える可能性が高い。→地域の金融機関との連携は強まっているが、被害防止の為、更に連携先を増やす必要がある。

・「8050問題」「高齢者虐待」等、解決困難な課題が増加。→各機関との連携ができつつある中で、早期の気づきに繋がるようケアマネジャーやサービス事業者、関係機関等が常に問題意識を持つ事が必要。

・交通の便がよい為、転居してくる地縁の薄い子育て世帯が増える可能性がある。→乳児、幼児、児童の各世代に合わせた地域に溶け込みやすい環境づくりが必要。

・地域特性として障がい者の作業所が多く、地域カフェなどの連携が始まっている。→各自治会町内会と障がい者施設の特徴に合わせ、お互いに支えあう関係づくりが必要。

新規  
継続

— 具体的な取組内容 —

- |                                     |                                     |   |
|-------------------------------------|-------------------------------------|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/>            | ・身近に活動場所がなかったり、集えなかったりする時でも介護予防に取り組む事ができる様、資料、パンフレットの作成、配架、希望者への送付を行う。ホームページも活用しながら、その取り組みの普及を行う。 |
| <input type="checkbox"/>            | <input checked="" type="checkbox"/> | 虐待予防について居宅介護支援事業所やサービス事業者、地域住民、関係機関への普及啓発の実施  |
| <input type="checkbox"/>            | <input checked="" type="checkbox"/> | コロナ感染拡大防止に配慮しながら、ケアマネジャーと関係機関(民生委員や医療機関、障がい福祉関係機関)等との連携方法について検討していく。                              |
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/>            | オンライン講座を活用し、多くの方がWeb会議ツール等を使用して講座に参加できるよう、使い方の啓発を行う。  |
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/>            | 自治会町内会役員、地域のキーパーソンにコロナ禍での地域状況についてのヒアリングを行い、停滞している活動への支援及び新しい活動の創出について検討していく。                      |

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント

# 令和3年度横浜市鶴ヶ峰地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

## 1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<p>(1)介護保険サービス利用の相談を受けた際に、相談者が幅広い選択肢の中から、居宅介護支援事業所やサービス事業所を選定できるように、旭区ケアマネジャー空き情報、ホームページ等で居宅介護支援事業所に関する情報を提供します。</p> <p>(2)年1回、地域ケアプラザにおける自己評価アンケートを実施し、自主事業参加者や介護予防支援利用者、地域包括支援センター相談者等から、公正中立な対応についての評価をいただき、事業運営に反映させています。</p> <p>(3)公正・中立の立場からの意見・調整を行う第三者委員制度を法人内に設置し、適切な苦情解決に繋がる体制を整備しています。</p>	<p>(1)法人で実施する個人情報保護・情報セキュリティ研修を職員が受講するとともに全職員に向け所内研修を実施します。</p> <p>(2)情報事故の起き易いデイサービスの記録書や連絡帳等の取り扱いは、ルールに則った上で必ずダブルチェックを行います。</p> <p>(3)郵送・FAX時もダブルチェックを行うとともに、個人書類の受渡しチェック表を活用し、いつ、誰が、何を、受け取り、渡したかが分かるようにします。</p> <p>(4)事故防止の為に危険予知訓練の研修を行うとともに、全体会議等で実際に発生した事故やヒヤリハットの振り返り、再発防止に向けての検討を行います。</p> <p>(5)事故に至らなかったヒヤリハットを所内で共有する事で同様の事故の防止に役立てます。</p> <p>(6)万一、事故や苦情が発生した際は、速やかに事実を確認し、当事者への謝罪や報告を行い、丁寧な対応を行います。同時に関係機関への報告も速やかに行います。</p>
実績		

## 2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門職として誠意を持って業務遂行すると共に、公正中立な立場から支援をします。</li> <li>・常にお客様の立場に立ち、ご本人の意思及び人格を尊重すると共に、適切な介護予防計画の立案に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様のニーズに対し、早期対応の取れる体制づくりを目指します。</li> <li>・お客様、ご家族様に寄り添い、適切な支援を通じ、信頼性を構築します。</li> </ul>
職員体制	保健師兼管理者1名(常勤兼務) 主任ケアマネジャー1名(常勤兼務) 社会福祉士2名(常勤兼務) 居宅介護支援専門員 4名(非常勤兼務1名専従3名)	管理者1名(常勤兼務) 居宅介護支援専門員2名(常勤専従) 2名(常勤兼務) 1名(非常勤兼務)
契約者数	240	120

## 3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様と介護者様、それぞれの思いを大切にし、気持ちに寄り添う支援を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様がご自分らしく過ごせる環境と、介護者様が安心して介護を委ねられる場所を目指します。</li> </ul>	

実施体制	<b>【実施日数】</b> 359日(12/29～1/3以外) <b>【提供時間】</b> 日～土(祝も含む) 9:30～16:30 <b>【定員】</b> 35名	<b>【実施日数】</b> 359日(12/29～1/3以外) <b>【提供時間】</b> 日～土(祝も含む) 9:30～16:30 <b>【定員】</b> 12名	<b>【実施日数】</b> <b>【提供時間】</b> <b>【定員】</b>
利用料金・実負担	昼食代 750円 当日キャンセル代 500円	昼食代 750円 当日キャンセル代 500円	
職員体制	管理者1名(常勤兼務)・相談員6名(常勤兼務)・看護職9名(非常勤兼務)・機能訓練指導員9名(非常勤兼務)・介護職27名(常勤兼務6名、非常勤兼務21名)・調理員8名(非常勤専従)・運転手9名(非常勤専従)	管理者1名(常勤兼務)・相談員6名(常勤兼務)・看護職9名(非常勤兼務)・機能訓練指導員9名(非常勤兼務)・介護職27名(常勤兼務6名、非常勤兼務21名)・調理員8名(非常勤専従)・運転手9名(非常勤専従)	
契約者数等	<b>【延べ利用者数】</b> 10,204 <b>【契約者数】</b> 140	<b>【延べ利用者数】</b> 2,478 <b>【契約者数】</b> 20	<b>【延べ利用者数】</b> <b>【契約者数】</b>

令和3年度「横浜市鶴ヶ峰地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,030,002		16,030,002		16,030,002	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	3,966,998		3,966,998		3,966,998	
収入合計	19,997,000	0	19,997,000	0	19,997,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,113,637	0	11,113,637	0	11,113,637	
本俸	8,800,000		8,800,000		8,800,000	
社会保険料	850,000		850,000		850,000	
手当計	1,220,890		1,220,890		1,220,890	
健康診断費	57,370		57,370		57,370	
勤労者福祉共済掛金	8,251		8,251		8,251	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	172,438		172,438		172,438	
その他	4,688		4,688		4,688	
事務費	900,000	0	900,000	0	900,000	
旅費	2,500		2,500		2,500	
消耗品費	200,000		200,000		200,000	
会議随費	0		0		0	
印刷製本費	89,000		89,000		89,000	
通信費	265,212		265,212		265,212	
使用料及び賃借料	10,560	0	10,560	0	10,560	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	10,560		10,560		10,560	
その他	0		0		0	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	25,981		25,981		25,981	
職員等研修費	70,000		70,000		70,000	
振込手数料	40		40		40	
リース料	218,707		218,707		218,707	
手数料	18,000		18,000		18,000	
地域協力費	0		0		0	
その他	0		0		0	
事業費	1,500,000	0	1,500,000	0	1,500,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	1,500,000		1,500,000		1,500,000	
その他			0		0	
管理費	4,898,000	0	4,898,000	0	4,898,000	
光熱水費	1,935,916		1,935,916		1,935,916	
清掃費	1,842,566		1,842,566		1,842,566	
機械警備費	118,254		118,254		118,254	
設備保全費	1,001,264	0	1,001,264	0	1,001,264	
空調衛生設備保守	302,261		302,261		302,261	
消防設備保守	49,273		49,273		49,273	
電気設備保守	331,539		331,539		331,539	
害虫駆除清掃保守	19,709		19,709		19,709	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	298,482		298,482		298,482	
共益費	0		0		0	
その他			0		0	
修繕費	474,000		474,000		474,000	予算：指定額
公租公課	1,111,363	0	1,111,363	0	1,111,363	
事業所税			0		0	
消費税	1,111,363		1,111,363		1,111,363	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	19,997,000	0	19,997,000	0	19,997,000	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	1,500,000	0	1,500,000	0	1,500,000	
自主事業 収支	△ 1,500,000	0	△ 1,500,000	0	△ 1,500,000	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	10,560	0	10,560	0	10,560	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 10,560	0	△ 10,560	0	△ 10,560	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和3年度「横浜市鶴ヶ峰地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	29,365,000		29,365,000		29,365,000	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,802,000		5,802,000		5,802,000	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			2,418,000		2,418,000	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	2,418,000		2,418,000		2,418,000	
収入合計	37,739,000	0	37,739,000	0	37,739,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	33,975,000	0	33,975,000	0	33,975,000	
本俸	20,843,412		20,843,412		20,843,412	
社会保険料	3,367,526		3,367,526		3,367,526	
手当計	9,077,310		9,077,310		9,077,310	
健康診断費	35,004		35,004		35,004	
勤労者福祉共済掛金	27,749		27,749		27,749	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	617,437		617,437		617,437	
その他	6,562		6,562		6,562	
事務費	480,720	0	480,720	0	480,720	
旅費	10,000		10,000		10,000	
消耗品費	100,000		100,000		100,000	
会議滞在費	0		0		0	
印刷製本費	73,458		73,458		73,458	
通信費	100,000		100,000		100,000	
使用料及び賃借料	10,560	0	10,560	0	10,560	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	10,560		10,560		10,560	
その他	0		0		0	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	25,982		25,982		25,982	
職員等研修費	40,000		40,000		40,000	
振込手数料	320		320		320	
リース料	120,000		120,000		120,000	
手数料	400		400		400	
地域協力費	0		0		0	
その他	0		0		0	
事業費	1,855,280	0	1,855,280	0	1,855,280	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	750,000		750,000		750,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000		154,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	321,280		321,280		321,280	予算：指定額
その他	0		0		0	
管理費	1,302,000	0	1,302,000	0	1,302,000	
光熱水費	514,620		514,620		514,620	
清掃費	489,795		489,795		489,795	
機械警備費	31,434		31,434		31,434	
設備保全費	266,151	0	266,151	0	266,151	
空調衛生設備保守	80,345		80,345		80,345	
消防設備保守	13,097		13,097		13,097	
電気設備保守	88,128		88,128		88,128	
害虫駆除清掃保守	5,239		5,239		5,239	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	79,342		79,342		79,342	
共益費	0		0		0	
その他	0		0		0	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	37,739,000	0	37,739,000	0	37,739,000	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	1,225,280	0	1,225,280	0	1,225,280	
自主事業 収支	△ 1,225,280	0	△ 1,225,280	0	△ 1,225,280	

管理許可・目的外使用許に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許に関わる支出	10,560	0	10,560	0	10,560	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許に関わる収支	△ 10,560	0	△ 10,560	0	△ 10,560	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和3年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 横浜市鶴ヶ峰地域ケアプラザ

令和3年4月1日～令和4年3月31日

(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			認知症通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	14,297		14,297	22,149		22,149	109,746		109,746	40,894		40,894
	その他	0	0	0	889	0	889	1,020	0	1,020	5	0	5
	事業・負担金収入			0	889		889			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
	その他			0			0	1,020		1,020	5		5
	<b>収入合計(A)</b>	14,297	0	14,297	23,038	0	23,038	110,766	0	110,766	40,899	0	40,899
支出	人件費	7,309		7,309	20,559		20,559	80,379		80,379	23,831		23,831
	事務費	5,456		5,456	1,530		1,530	25,253		25,253	7,385		7,385
	事業費			0			0			0			0
	管理費	0		0			0	8,309		8,309	2,197		2,197
	その他	0	0	0	0	0	0	768	0	768	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料			0			0			0			0
				0			0			0			0
	その他			0			0	768		768			0
	<b>支出合計(B)</b>	12,765	0	12,765	22,089	0	22,089	114,709	0	114,709	33,413	0	33,413
	<b>収支 (A)-(B)</b>	<b>1,532</b>	<b>0</b>	<b>1,532</b>	<b>949</b>	<b>0</b>	<b>949</b>	<b>-3,943</b>	<b>0</b>	<b>-3,943</b>	<b>7,486</b>	<b>0</b>	<b>7,486</b>

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和3年度 自主事業計画書・報告書

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）			<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	ママとベビーヨガ	平成29年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①親子の心身の健康の維持 ②交流の場の提供、子育ての情報提供 ③親子のリフレッシュの機会の確保	3:養育者及び乳幼児		母親の健康維持やリフレッシュにも焦点を当てた親子ヨガ教室。		
2	鶴ちゃん喫茶	平成24年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①精神障害がある方々の仲間づくり支援 ②地域の作業所や民生委員等関係機関との連携	2:障害児・者		お話・交流会 毎月第1水曜日		
3	カルチャー広場	平成13年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①交流の場の提供 ②趣味活動の機会を作り、生活に意欲を育てよう支援 ③ボランティアの育成	5:地域		・地域の方を対象に開催 ・講師を地域のボランティアの方に依頼し開催。		
4	美文字講座	平成25年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①ケアプラザ機能の周知 ②交流の場の提供 ③趣味活動の機会を作り、生活に意欲を育てよう支援 ④ボランティアの育成	5:地域		美しいひらがな(地域住民)…6月 書初め(小学生対象)…12月 写経(地域住民)…3月		
5	お母さんに感謝を込めてプレゼントを贈ろう	令和2年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①交流の場の提供 ②趣味活動の機会を作り、生活意欲が持てるよう支援 ③ケアプラザ機能の周知	4:子ども・青少年		ハーバリウムの花瓶作り		
6	お父さんに感謝を込めてプレゼントを作ろう	令和2年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①交流の場の提供 ②趣味活動の機会を作り、生活意欲が持てるよう支援 ③ケアプラザ機能の周知	4:子ども・青少年		講師を近隣の障がい者地域作業所に依頼し、父の日に送るボールペン作り		
7	ぼけっと共催事業 親子体操	平成30年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①ケアプラザ機能の周知 ②子育ての不安、負担の減少 ③母親同士の仲間づくり支援 ④関係機関との連携	3:養育者及び乳幼児		体育協会に講師を依頼し、親子で出来る体を使った遊びを学ぶ		
8	畠山重忠公史跡めぐり	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①交流の場の提供 ②趣味活動の機会を作り、生活意欲が持てるよう支援 ③閉じこもり・介護予防	1:高齢者		・旭ガイドボランティアやウォーキングアドバイザーを講師として、地元ゆかりの「畠山重忠公」の史跡をめぐる ・6、10、11月に開催		
9	離乳食講座	平成30年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①食育 ②子育ての不安、負担の減少。 ③母親同士の仲間づくり ④相談機関としてのケアプラザの機能周知	3:養育者及び乳幼児		りぼんの会秋山管理栄養士に講師を依頼、6ヶ月～1歳の乳幼児を対象とした離乳食の講義、実際の作り方のデモンストレーションを行う。		
10	ZOOM講座	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①オンライン環境の普及啓発 ②ケアプラザ機能の周知 ③ボランティアの育成 ④交流の場の提供	5:地域		10月以降開催を予定している、ZOOMを使用したオンライン講座開催の為に準備として実施。		
11	はじめてのプログラミング講座	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①夏休みの居場所作り ②ネット環境の普及啓発 ③ケアプラザ機能の周知	4:子ども・青少年		プログラミングの仕組みを知る。パソコンや、キーボードに触れる機会を提供し、夏休みの自由課題の機会にできるような支援する 7・8月に開催		
12	ギャラリーA to Z	平成15年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	①ケアプラザ機能の周知 ②交流の場の提供 ③趣味活動の機会を作り、生活に意欲を育てよう支援 ④ボランティアの育成	5:地域		・1F情報ラウンジに作品の展示 ・来館者の意見を聞き取り、次回の展示内容の参考となるよう努める		
13	鶴ピカ大作戦	平成21年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①福祉活動団体(II団体)のボランティア活動の場の提供 ②食中毒の予防	5:地域		貸室利用団体による福祉保健活動の一環とした掃除会 1月～3月に開催		
14	ボランティア交流会	平成14年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①同士の交流の機会の確保 ②仲間づくり支援	7:その他		ケアプラザに登録し活動して下さっているボランティア同士の交流・連携作りを目的とした会食・交流会		
15	かるがもサロン	平成17年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①親子の心身の健康の維持 ②交流の場の提供、子育ての情報提供 ③親子のリフレッシュの機会の確保 ④関係機関とのネットワーク作り	3:養育者及び乳幼児		・親子での自由遊び(プレイルーム開放) ・エリアにある保育園のネットワークつるがみネットの協力による、手遊びやパネルシアター ・季節の行事を取り入れたイベント		
16	ふれあいサロン	平成17年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①交流の場の提供 ②健康の促進や維持 ③趣味活動の機会を作り、生活に意欲を育てよう支援	1:高齢者		サロン形式でお茶を用意し、午前中は太極拳、午後は社交ダンス、囲碁将棋は午前・午後を通して開催。毎回参加者は多数。地域住民に周知された事業となっている。 毎月第1・3・4 金曜日		

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業  
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）  
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業  
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児  
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者  
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
17	えくぼ教室	平成26年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①概ね2～4歳児の親子で、特に障がいと思われる幼児や育児不安の強い養育者への育児支援と発達援助 ②さまざまな経験の中で発達を促し、学習と交流の機会となるよう支援	4:子ども・青少年		・福祉保健センターと連携実施 手遊び、リズム遊び、育児相談等 ・クリスマス等季節感を取り入れた特別プログラムを提供		
18	語り部サロン	平成14年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①意欲向上と自己表現の場 ②外出と交流の機会の開催 ③ボランティアの育成	1:高齢者		・参加者は絵本や民話を読み合い、昔を回想するなどコミュニケーションを図る。 ・ボランティアは高齢者の聞き役としてコミュニケーションの活性化を支援。		
19	コーヒーマスターハンドドリップ	平成27年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	①交流の場の提供 ②趣味活動の機会を作り、生活に意欲を持てるよう支援 ③ボランティアの育成	5:地域		・団塊世代を対象とし、ボランティアデビューのきっかけ作り。 ・趣味活動を通じて仲間作りを支援する。		
20	ふれあいまつり	平成21年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①ケアプラザ機能の周知 ②ボランティアや地域の作業所等の発表、活躍の場 ③地域住民の交流の場	5:地域		・地域活動団体による模擬店、演技発表など 11月開催予定		
21	鶴ちゃんページ更新	平成29年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	・コロナ禍において活動している団体の情報を地域で必要としている方、ケアマネジャー等に提供していく。 ・コロナ禍で行っている活動を見える化して情報を提供していくことで閉じこもり、介護予防していく。	5:地域		・地域住民、団体の意思を確認し、コロナ禍において必要な情報を地域に届ける。 ・認知症予防、介護予防、孤立予防のきっかけに繋げていく。		
22	川島町南町内会健康カフェ	令和元年度	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	・コロナ禍での運営支援 ・段階を踏みながら交流・健康・介護予防の場として再開できるようにしていく。	1:高齢者		・コロナ禍での運営支援を行う。 ・コロナの状況を鑑みながら、活動時間の延長や運動等のプログラムを取り入れていく。		
23	中田カフェ再開に向けて	平成30年度	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	・地域の意向を確認し、中田カフェの再開、もしくは新しい形の地域活動に繋げていく。	1:高齢者		・町内会及び役員と話す機会を設け、意向を確認しつつ、再開の道筋を検討していく。		
24	おしゃべりカフェつるがみね再開に向けて	令和元年度	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	・コロナ禍において活動が停止している「おしゃべりカフェつるがみね」が載りできるよう支援していく。 ・通いの場以外の活動方法を提示していく。	1:高齢者		・月1回の打ち合わせを設け、担い手のモチベーションアップ、必要性の理解を高めていく。 ・下期の再開を目安に準備を行っていく。		
25	あさがお会	平成21年度	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	・今年度、後方支援を行い、参加者の意識、自信を高め、次年度の自立へと繋げる。	1:高齢者		・活動の後方支援を行い、次年度の自立へと繋げていく。		
26	自治会・町内会アセスメント	令和3年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	・自治会・町内会の役員もしくはキーパーソンにヒアリングを行い、コロナ禍での地域の状況、各役員、キーパーソンの思いを聞き取る。	5:地域		自治会・町内会の役員、キーパーソンと話し合い、コロナ禍での地域の現状、ニーズを探る。		
27	つるがみね健康教室(GoGo健康元気づくり教室)	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	・地域の仲間作りと交流の場の提供 ・健康寿命を延伸し、介護状態を予防するための知識と実践について学ぶ場の提供	1:高齢者		・管理栄養士、音楽療法士、協力医、横浜市出前講座などを講師に招いた講座を実施 毎月第2(もしくは第4)木曜日 年12回		
28	元気づくりステーション活動支援	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	・元気づくりステーションを対象とした、グループ活動継続の支援	5:地域		・栢谷公園健康クラブ(栢谷公園)、ローズサークル(県営鶴ヶ峰アパート集会所)の支援		
29	みな元気旭グループ活動支援	平成22年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	・みな元気旭グループを対象とした、グループ活動継続の支援	5:地域		・ひまわり会(西川島町西部町内会館)、鶴ヶ峰本町いきいき生活講座(鶴ヶ峰本町会館)、小三長寿ランドゴルフ部(栢谷公園)の支援		
30	介護予防活動グループ活動支援	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	・地域の介護予防活動グループを対象とした、グループ活動継続の支援	5:地域		・介護予防活動を行っているグループに対し講師を派遣しての講座やパートナー研修、リハビリ職派遣事業を利用した講座などの開催 ・介護予防活動グループ連絡会の開催		
31	介護予防カレンダー	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	・健康寿命を延伸し、介護状態を予防するための活動の普及啓発・促進 ・ケアプラザや地域で開催される介護予防事業への参加・継続の意欲の促進	1:高齢者		・ケアプラザで開催される介護予防事業をカレンダーとして一覧にし、事業参加者や地域の高齢者に配布する 年12回 発行		
32	さくら会	平成21年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	・地域の仲間作りと交流の場の提供 ・フレイル状態、介護状態を予防し、健康寿命を延ばすための栄養の知識と実践について学ぶ場の提供	1:高齢者		・管理栄養士による講義、実践 毎月第3水曜日 年12回		



■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業  
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）  
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業  
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児  
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者  
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
33	コグニサイズを学ぼう	平成29年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	・地域の仲間作りと交流の場の提供 ・認知症について正しい知識と予防について学び、実践できる場の提供 ・介護予防に役立つ脳と体の運動と実践について学ぶ場の提供	1:高齢者		・運動指導士による講義、実践(コグニステップ、コグニラダー、コグニウォーク等) 毎月第1月曜日 年12回		
34	保健活動推進委員研修	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	・保健活動推進委員を対象とした、健康づくりや介護予防についての講座の実施	5:地域		・地域で活動する保健活動推進委員に対し、運動指導士、歯科衛生士を講師に招いた講義・実技を実施 年2回実施（8月、令和4年2月）		
35	出張 介護・医療何でも相談会	平成28年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	・地域の方が多く利用する場所に相談機関を設置し、福祉相談窓口鶴ヶ峰(地域包括支援センター)の周知を図ります。	5:地域		・ケアプラザ周知のチラシ配布 ・介護保険個別相談・医療相談		
36	介護者カフェ「カフェdeらん」	平成28年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	・安心して介護者の抱える感情を表出できる場として開催します。 ・介護者相互情報交換をしていきます。 ・介護者の休養やリフレッシュおよび役立つ社会資源の提供をしていきます。	7:その他		・近隣の小規模多機能型居宅介護事業所の協力を得て、ケアプラザにて介護者カフェを開催。 情報交換、勉強会など ・毎月第4水曜日 年12回		
37	鶴ちゃんコール	平成29年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	・一人暮らしの方や福祉サービスに繋がっていない方に対する見守りを目的とします。・地域福祉関係者等により、見守り電話を行い、ネットワーク構築を図ります。	1:高齢者		・月2回の見守り電話の実施 毎月第2・4火曜日		
38	出張講座	平成21年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	・地域の各種団体の会に出向き、健康教育や介護予防、介護保険について説明し、健康意識向上や介護予防の普及啓発を目指す。 ・権利擁護の普及啓発活動と包括支援センターの役割の周知を図る。	1:高齢者		介護予防、介護保険、認知症予防、体操、レクリエーションや権利擁護、成年後見制度、消費者被害防止の講話。 ・地域の食事会(4箇所)老人会、サロン等		
39	高齢者見守り支援事業	平成29年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	・エリア内の集合住宅等の実態把握 ・地域包括支援センターの相談窓口機能の周知 ・消費者被害防止の注意喚起	1:高齢者		集合住宅の実態調査 エリア内の集合住宅等に訪問 地域包括支援センターの連絡先等を記載したチラシや消費者被害注意喚起チラシを配布		
40	終活講座	令和元年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	・終活についての必要な知識、生前整理、遺言・相続、成年後見制度等について普及啓発 ・旭区延エンディングノートの普及啓発 ・地域包括支援センター-社会福祉士の役割の周知	5:地域		講座や無料相談会の開催		
41	街頭オレオレ詐欺撲滅キャンペーン	平成25年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	・振り込み詐欺防止の為に普及啓発 ・地域包括支援センター・消費生活総合センターの相談窓口の周知 ・地域の消費生活推進員と金融機関、警察との連携	5:地域		年金支給日に合わせ、消費生活推進員や金融機関、警察と連携し、地域の方々が消費者被害に遭わないよう啓発活動を行う。		
42	アルツハイマーデー街頭キャンペーン	平成25年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	・関係機関と共に地域住民へ認知症の啓発活動と相談窓口の周知をする。	5:地域		関係機関と共に地域住民へ認知症の啓発活動のためのグッズを配布する。		
43	金融機関等への認知症サポーター養成講座	令和元年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	・金融機関等への認知症理解の推進 ・消費者被害防止につなげる関係づくり ・金融機関等へ地域ケアプラザや包括窓口、徘徊SOSネットワークの機能周知	6:事業者		旭区キャラバンメイトひまわりの会を講師に、エリア内の金融機関等へ認知症サポーター養成講座を開催する。		
44	認知症をみんなで支えるまちづくり検討会@鶴ヶ峰地域ケアプラザ	平成24年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	・認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを地域の方々と考え取り組む。	5:地域		・地域の保健福祉団体の関係者の方々が検討委員となり、一緒に具体的な施策を考える。		
45	鶴ヶ峰地区高齢者福祉入居施設連絡会	平成24年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	グループホーム等の入居施設が多い地域特性を生かし、施設同士情報共有し、共に学びあう関係作りをしていく。地域密着型サービスとしての地域貢献について実践できるようにしていく。	6:事業者		・地域密着型としての地域へのアピール方法を考えていく。		